

もしかして？ 高齢者虐待に 気づいたら

今年の夏、ある公園のベンチに長い時間座っている高齢者が見つかりました。



もしかしたら虐待ではないかと住民から連絡を受けた市の担当者は、家族と面談を行いました。



病院に行ってくれないし、お風呂にも入りたがらないんです。

本人にどうやって関わればいいのか分かりません。



相談を受けた担当者は家族によりそいながら、関係機関と協力し、サポートしていきます。



そして何度も話し合いをくり返したことで、病院受診や施設入所につながりました。

虐待にはこのようなものがあります



殴る蹴るなどの暴力
身体



高齢者を叱りつける・無視する
心理



年金などを勝手に使ってしまう
経済



劣悪な環境で放置
放棄・放任

高齢者虐待を未然に防ぐためには、近所同士で声をかけあい、高齢者とその家族が孤立しないように見守ることが大切です。

介護者本人が「耐えられなくなりそう」と感じるものがあつたら早めに身近な窓口に相談することも大切ですが、周囲の人が異変に気づき一緒に支えることや、適切な相談窓口につなぐことで虐待を防ぐこともできます。

高齢者が社会の一員としていきいきと暮らせるように体や心について正しく理解し、私たち一人ひとりが高齢者の人権について考えていきましょう。



●高齢者の介護、健康、暮らしにかかわる心配ごとや相談は、筑紫野市 地域包括支援センターへ。左のコードをスマートフォンなどで読み込むと、市ホームページの問い合わせ先などがご覧いただけます。